

キラリ
光るまち

人・自然・文化がつながる 里山「田滝」

運動場からの景色



心癒される里山です。田滝小学校は、この豊かな自然の中で地域と共に歩んできた伝統ある学校です。

「人・自然・文化が輝く田滝をこれからもずっと」という地域の強い願いのもと、温かい人間関係や絆、地域の団結力や教育力など、時代が変わっても失われてはならない大切なものに包まれて、田滝小学校の子どもたちは育っています。

西条市の西端にあり、道前平野を一望する扇状地の上部に位置する田滝地区は、世帯数約120戸、人口約300人の小さい集落です。目の前に広がる澄みきった青空、夕日に輝く石鎚の山々、雪の棚田など、四季折々の景色に

「なんとかせないかん」

平成15年度、押し寄せる少子高齢化の波は、過疎地田滝にとって深刻なものでありました。田滝小学校の児童数17名、前年度の24名から大幅に減少し、廃校への懸念が大きくな不安となりつつありました。そのような中、学校の存続や地域の活性化を願う声が高まり、自治会が動き始めます。平成16年6月「明日の田滝を考えるシンポジウム」を開催し、田滝の活性化や未来像、就学児童の増加に向けた取組について、住民の知恵を出し合い真剣な話し合いが重ねられて行きました。17年度9名、18年度7名、19年度6名、20年度5名、21年度6名と厳しい状況が続く中、一筋の光を見いだします。

「通学区の自由化、これしかない！」自治会と学校が一丸となって、地域の理解を得ながら、教育委員会



明日の田滝を考えるシンポジウム

愛媛への移住を考えていたある家族が見つけたもの、それは田滝小学校のホームページでした。日々更新されるブログを見ながら、田滝小学校や里山の田滝のすばらしさを感じ、「この学校を見てみよう」という思いが家族全員の中で高まってきます。平成22年10月に開催された「田滝収穫祭・田滝小学校公開授業」には、はるばる茨城から見学に来ることになったのです。移住することに関して様々な不安を抱いていたご両親の思いを吹っ切ったのは「僕、この

を動かししました。平成21年10月、田滝小学校は校区関係なくどこからでも自由に通える学校、就学区自由化特例校として認定されたのです。

「田滝小学校に行きたい！」



公開授業1・2年



西条市立田滝小学校
校長

谷口 晃

学校に行きたい。田滝小学校に行きたい。」という子どもさんの輝く目と声でした。そして、平成22年度末、田滝へと移住、新1年生のお子さんは田滝小学校へ入学しました。地域のみんなに祝福され

「田滝に来てよかった」

市内の他校区からも、2家族3人のお子さんが平成23年度に田滝小学校に転入してきました。やはり、前年度から検討しながらの決断でした。引つ込み思案だった子が笑顔と大きな声で自分の思いを表す姿や、学校に行くことをためらっていた子が伸び伸びと活動する姿が、自然な姿として今田滝の中にあります。「田滝に来てよかった」「来させてよかった」という声は、田滝の人・自然・文化にかかわる中から湧き出たものだと思います。地域ぐるみ運動会や盆踊り大会、芋炊き会、収穫祭などで見られた子どもたちやお母ちゃんたちの笑顔はとても微笑ましいものでしたし、その姿を見守る地域の方々もやはり温かい笑顔でした。つながり合う姿を感じた瞬間でした。



地域ぐるみ運動会



盆踊りでのお籠踊り

「人・自然・文化をつなぐ」

このように、田滝地区には素晴らしい自然と文化がたくさんあり、それらが互いに絡みあつて田滝の人々をつないでいると感じています。愛媛

県無形民俗文化財「お籠踊り」は、その代表的な一つです。小学校の子どもたちや保護者の皆さんも、夏の盆踊り大会で踊ります。保存会の皆さんによる手ほどきをいただいているからこそのことです。

小学校での栽培活動も、地域の皆さんのお世話になって進められています。じゃがいも、さつまいも、スイカ、お米、タマネギなど、幾種類もの栽培体験を行っています。地域の農家の方々にお世話になって、植え付けから収穫までの体験をさせていただいています。また、地元特産の愛宕柿を提供して下さつての干し柿作りも行っています。約750個の干し柿は、高齢者家庭や近隣校に配布しています。これもま



干し柿づくり



さつまいもの収穫

た人のつながりが生まれるきっかけとなっています。

田滝地区収穫祭というイベントは、西条市内ではかなり知られるところとなりつつあります。豚汁などのお昼ご飯、さつまいも掘り、焼き芋、金魚すくい、柿の皮むき大会、これらはすべて無償で提供されます。もちろん、格安の特産物販売や小学校からの販売もあります。決して利益を得ようとすることはありません。願いは「多くの人に喜んでもらう」ということだけです。事前の打ち合わせは何度も行われます。田滝の自然に育まれた産物を知ってもらうため、田滝を大切に思うみんなの気持ちを分かってもらうため、その思いだけでこのイベントは成り立ちます。

人々の思い、その熱意と行動力によって、人と人、人と自然や文化がつながり、地域を変えていくのだと思います。田滝小学校児童は現在11名、来年度は15名の予定です。他地域からの就学も見込まれています。子どもたちの笑顔で賑わう里山田滝を、これからも地域と学校とで支え続けていきたいと強く思っています。



収穫祭